

中国心学の稜線



[中国心学の稜線 下载链接1](#)

著者:三浦秀一

出版者:研文出版

出版时间:2003

装帧:单行本

isbn:9784876362158

心学を含む宋代の学問を移入し始めた金朝後半の知識人社会が、如何なる内容の思潮を形成し、その後どのように許衡へ至ったかを考察する「金末元初の道学と許衡」ほ

か「宋末元初の老子注と呉澄」などについての論文をまとめる。

作者介绍:

目录: 序章 十三、四世紀中国の心学に関する覚書

上篇 金末元初の道学と許衡

金末の道学

金元の際の全真教

許衡の思想について

中篇 宋末元初の老子注と呉澄

元初の道仏対立と老子注

老子注と朱熹の思想および内丹説

呉澄の『道德真経註』について

元朝南人における科举と朱子学

下篇 宋濂と元末明初の時代思潮

宋濂の思想と行動 出仕以前

宋濂の思想と行動 出仕以後

・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[中国心学の稜線_ 下载链接1](#)

标签

思想史

蒙元史

海外中国研究

日本

历史

儒学

金代

明清史

评论

仔细研读了宋濂和佛教的部分，恐怕没人能想到宋濂这家伙是以注《心经》出道的吧。
。。

[中国心学の稜線 下载链接1](#)

书评

[中国心学の稜線 下载链接1](#)